

全日本トラック協会新型コロナ感染予防対策ガイドラインより

感染予防へのお願い

政府からの緊急事態宣言が5月25日に解除となりましたが、
今後も引き続き感染防止対策が必要です。

図書館等の**公共施設**、電車やバス等の**公共交通機関**を
利用する時は、**マスク着用**や**咳エチケット**、
車内等の**密閉空間で会話をしない**こと等に注意しましょう。



詳しくは、健保より配信済みの資料をご覧ください。

⑬人との接触を
8割減らす
10のポイント



⑭新しい生活様式って何？
一人ひとりの基本的感染対策編



⑮新しい生活様式って何？
日常生活編



※SG健保ホームページでもご覧いただけます

感染が疑われる場合には、速やかに会社に報告しましょう

具体的
には

- ・体調に思わしくない点があるとき
- ・感染者との濃厚接触の可能性があるとき
- ・同居家族が感染したとき

在宅勤務や休暇制度を利用できる可能性があります。

詳しくは、健保より配信済みの資料をご覧ください。

⑭発熱などの風邪症状が見られるときは



⑯身近な人が新型コロナウイルスに感染したら、どうしたら良いの？



※SG健保“MYKENPO”でもご覧いただけます

入国制限のある国や地域等への渡航者との濃厚接触がある場合、会社に報告し自宅待機しましょう

過去14日以内に、政府から入国を制限されている国や地域等への渡航者・現地在住者との濃厚接触があった場合には、**職場に必ず報告し、自宅で待機**しましょう。



帰国



濃厚接触



自宅待機

取引先等の外部関係者にも協力をお願いします

外部関係者が事業所に立ち入る際には、
感染防止対策について事前に説明しておき、
従業員に準じた感染防止対策を求めましょう。

マスク着用

身体的距離
の確保

アルコール
消毒



非対面配達(置き配)について

直接お客様と対面しないよう
配達時にお客様が在宅で、
「非対面配達」を希望された場合のみ
実施するルールとなっています。

出典：佐第2020/032号『緊急事態宣言』の解除に伴う感染防止対策 継続及び緩和の件

新型コロナウイルス感染症に関する差別をなくしましょう

新型コロナウイルス感染症から回復した従業員やその関係者が
差別されることなどが無いよう、円滑な社会復帰のための
十分な配慮を行いましょう。

法務省 人権相談窓口

新型コロナウイルス感染症に関連する不当な差別、偏見、いじめ等の
被害に遭った方からの人権相談を受け付けています。
困った時は、一人で悩まず相談してください。



QRコード

- ・インターネット相談
- ・電話相談 0570-003-110
(平日8:30~17:15)

